

『精神・神経疾患病態解明を切り開く』

新しい脳機能研究』

日時：2020年7月21日(火) 10:30~16:20

場所：千里ライフサイエンスセンタービル 5F 山村雄一記念ライフホール

開催趣旨

多様化する現代社会において、高次脳機能異常を主体とする発達障害・精神疾患の解明は喫緊の課題であり、神経科学におけるホットピックである。高次脳機能は遺伝子・分子発現から回路機能までの階層的な生理機能によって担われており、このような階層的生理機能が発達期から成熟期までの時期特異的に発現することによって正常な脳機能が発揮する。一方で、これまでの研究トレンドは、遺伝子異常などの分子研究が主流であった。本セミナーでは多角的な観点から精神疾患に迫るために、分子からシステムまでの多階層を網羅する最先端技術や計算理論などを駆使した精神疾患研究の新潮流を紹介する。精神疾患におけるマイクロ～マクロまでの神経回路異常を描出・再構成し、病態解明に迫りたい。

演題・演者：(《*》：コーディネーター)

- 10:50~11:30 **「精神疾患におけるグリア細胞」**
和氣 弘明 名古屋大学大学院医学研究科 分子細胞学 教授《*》
- 11:30~12:10 **「計算論的精神医学：脳の計算理論に基づく精神疾患の病態解明」**
山下 祐一 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 室長
- 13:20~14:00 **「社会ストレスの適応的反応と不適応反応の脳内基盤」**
古屋敷 智之 神戸大学大学院医学研究科 薬理学分野 教授
- 14:00~14:40 **「脳の発達を駆動する神経回路再編メカニズム」**
榎本 和生 東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻脳機能学分野 教授
- 14:50~15:30 **「精神・神経疾患の基盤としてのシナプス形成機構の解明」**
柚崎 通介 慶應義塾大学医学部 神経生理学 教授
- 15:30~16:10 **「樹状突起演算と精神疾患：なぜ樹状突起スパインのサイズが重要なのか？」**
林(高木) 朗子 理化学研究所 脳神経科学研究センター 多階層精神疾患研究チーム
チームリーダー 《*》

- 参加費：無料
- 定員：200名（定員になり次第締切り）
- 申込方法：氏名・勤務先・所属・役職名・〒・所在地・電話 を明記の上、E-mailでお申し込みください。（FAXによるお申し込みも可）事務局より「参加証」をお送りいたします。
- 申込先：セミナーN2事務局
E-mail:dsp-2019@senri-life.or.jp
FAX:06-6873-2002 TEL:06-6873-2001

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団